

# 京都ノートルダム女子大学 研究紀要

## 第 51 号

### 目 次

#### 【総説】

- 終止符の考察……………堀 勝 博 1  
—〇印の書き順を中心に—

#### 【学術論文】

- 小学校1学年児Mの家庭における書くことの学習 ……渡 辺 春 美 17  
—国語学習个体史の研究—
- 地域共生社会の実現と社会福祉協議会における総合相談……………酒 井 久 美 子 31  
—近畿圏内の市町村社会福祉協議会に対する調査を通して—
- 韓国における中学校道徳科のカリキュラムおよび指導法に関する考察……………石 川 裕 之 43  
—日韓比較の視点から—
- 大学生のラーニングアウトカムに関連する要因の検討……………尾 崎 仁 美・松 島 る み 55  
—大学2年生の調査結果から—
- 「ている」—いま・ここのカプセル化— ……三 原 健 一 67
- オクタビオ・パスの詩論における“el otro”と“el desconocido”の違い……………平 山 幸 乃 79  
フェルナンド・ペソアとの比較を通して
- Utilizing Online Discussion Forums in Teaching EAP Writing……………HIRANO Akari 91
- 「話すこと・聞くこと」から「書くこと」「読むこと」へ……………河 野 有 時 118  
—井上ひさし「握手」考—

**BULLETIN**  
**OF**  
**Kyoto Notre Dame University**  
(KYOTO NŌTORUDAMU JOSHI DAIGAKU KENKYŪ KIYŌ)

Number 51

March 2021

Contents

**Retrospective**

- Reconsidering the Stroke Order of the Japanese Period Circle .....HORI Katsuhiro 1  
as Punctuation

**Articles**

- "Learning to Write at Home for M in the 1st grade of Elementary ..... WATANABE Harumi 17  
School: A Study of Individual Learning History of the Japanese Language"
- A Study about Consultation on Council of Social Welfare to Realize ..... SAKAI Kumiko 31  
Community Involvement Society  
-Through Investigation for Council of Social Welfare in the Kinki Area-
- Curriculum and Teaching Methods for Middle School Moral ..... ISHIKAWA Hiroyuki 43  
Education in South Korea: A Comparison with Japan
- Factors Associated with University Students' ..... OZAKI Hitomi & MATSUSHIMA Rumi 55  
Learning Outcomes: Survey Results of Second-year University Students
- Here and Now: A Study of *-teiru* in Japanese .....MIHARA Ken-ichi 67
- Difference Between "el otro" and "el desconocido" in the Poetry ..... HIRAYAMA Yukino 79  
of Octavio Paz and Fernando Pessoa
- Utilizing Online Discussion Forums in Teaching EAP Writing ..... HIRANO Akari 91
- A Study on Inoue Hisashi's "Akushu" ..... KONO Aritoki 118

**Published**

**by**

**Kyoto Notre Dame University**  
**1 Minami-Nonogami-Cho, Shimogamo, Sakyo-Ku**  
**Kyoto, Japan 606-0847**



## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が日本に上陸して1年が経過しましたが、世界中が未曾有の感染症に見舞われ、人々の日常生活が一変してしまいました。昨年4月の緊急事態宣言発出時には、大学から学生の姿が消え去り、さながらゴーストタウンの様な静まり返った新年度を迎えました。この間、大学での講義もオンラインとなり、三密を避けるような研究手法では多くの制約を受け、今まで気にもかけなかった事態に直面する結果となりました。とくに調査研究では、感染予防の観点から許される範囲での実施となったことが挙げられます。しかし、日々の様々な制約の中でも研究を継続してこられた諸先生方には、敬意を表したいと思います。

今回、「研究紀要」第51号をお届けできることは、投稿してくださった先生方のお力によるものであり、心より感謝申し上げます。本号では、すべての学部・学科からの学術論文8編および総説1編の全9編を掲載することができました。中には、突然の事態のために、止む無く投稿を断念された先生方も多くおられたかと思いますが、是非とも次号に投稿頂きますように、お願い致します。新型コロナウイルス感染症という困難な状況が1日も早く終息し、安心して「教育と研究」に打ち込める本来の大学人としての生活を取り戻したいと強く願っています。

2021(令和3)年3月

図書館情報センター委員会 委員長  
(図書館情報センター長)

萩原 暢子

### 図書館情報センター委員会 (紀要編集委員会)

萩原 暢子	Lyle De Souza	河野 有 時
矢島 雅子	空間 美智子	小川 博 士
小林 忍	嶋本 典子	緒方 拳
谷 愛子		

## 京都ノートルダム女子大学研究紀要 第51号

---

2021(令和3)年3月30日発行

編集兼発行者 **京都ノートルダム女子大学**  
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1  
Tel(075)781-1173 Fax(075)706-3707

印刷所 株式会社 田中プリント  
〒600-8047 京都市下京区石不動之町 677-2  
Tel(075)343-0006 Fax(075)341-4476